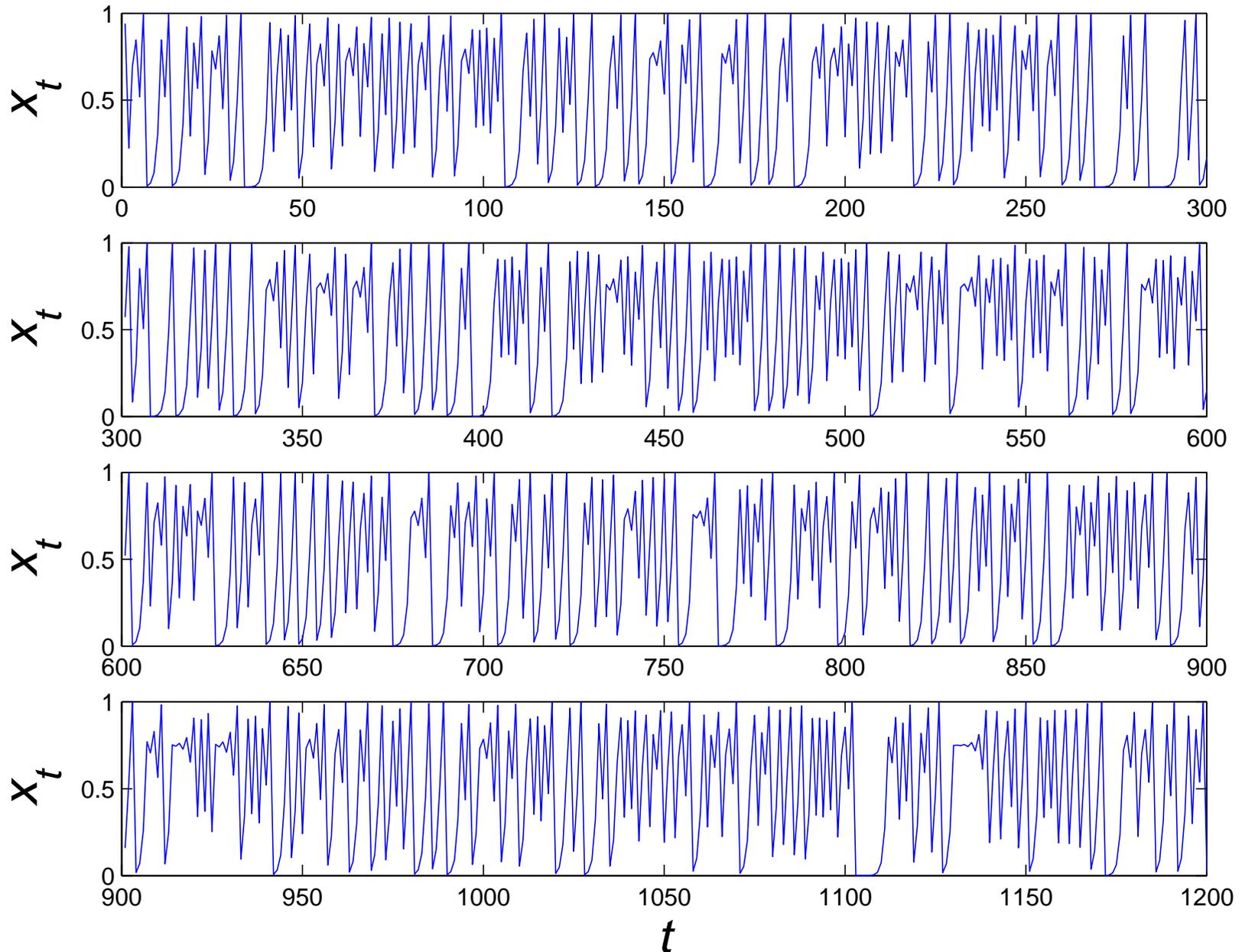


# カオスの“定義”

- ❑ Aperiodic
- ❑ Bounded
- ❑ Deterministic
- ❑ Sensitive Dependence on Initial Conditions

# 非周期性，有界性



# カオスの“定義”

## □ Aperiodic

– 同じ状態は二度と生じない

☞ ただし、コンピュータシミュレーションがデジタル計算であることには注意する必要がある。

## □ Bounded

– 写像を何回繰り返しても、有限な空間に存在している ( $\pm\infty$ に発散しない)。

## □ Deterministic

## □ Sensitive Dependence on Initial Conditions

# 決定論的

$$x_{t+1} = f(x_t) = 4x_t(1 - x_t)$$

- $t = 0$  での値  $x_0$  (初期値) から  $x_1$  を決定できる  
**確率的な要素は全く含まれていない**
- $t = 1$  での値  $x_1$  から  $x_2$  を決定できる
- この過程は、次々と繰り返えされる。つまり、

初期値が与えられると、未来永劫、  
全てが決定される

「決定論に従う」

→ **確率的な法則も創り出すことができる!!**



# 決定論的 → 確率的

ロジスティック写像  $x_{t+1} = 4x_t(1 - x_t)$  より得られる  $x_t$  ( $t = 0, 1, 2, \dots$ ) の系列に対し、

---

$0 \leq x_t \leq 0.5 \rightarrow$  表

---

$0.5 < x_t \leq 1 \rightarrow$  裏

---

という対応を考えると、コイントス (確率的) を繰り返した系列ができる。つまり、

$$x_0, x_1, x_2, x_3, \dots, x_{t-1}, x_t, x_{t+1}, \dots$$

が与えられたら、

$$\omega_0, \omega_1, \omega_2, \omega_3, \dots, \omega_{t-1}, \omega_t, \omega_{t+1}, \dots$$

を作ることができる。

# 確率的 → 決定論的

驚くべきは、逆のことが成立する!!!

無限記号列

$$\omega_0, \omega_1, \omega_2, \omega_3, \dots, \omega_{t-1}, \omega_t, \omega_{t+1}, \dots$$

を勝手に取ってくる。



すると、取ってきた無限記号列に対応する、ロジスティック写像から生み出された

$$x_0, x_1, x_2, x_3, \dots, x_{t-1}, x_t, x_{t+1}, \dots$$

という系列が存在し、全ての  $t$  について  $x_t \in \omega_t$  となるような初期値  $x_0$  をうまく取ることができる。

# 決定論的なのに確率的なものを作る!

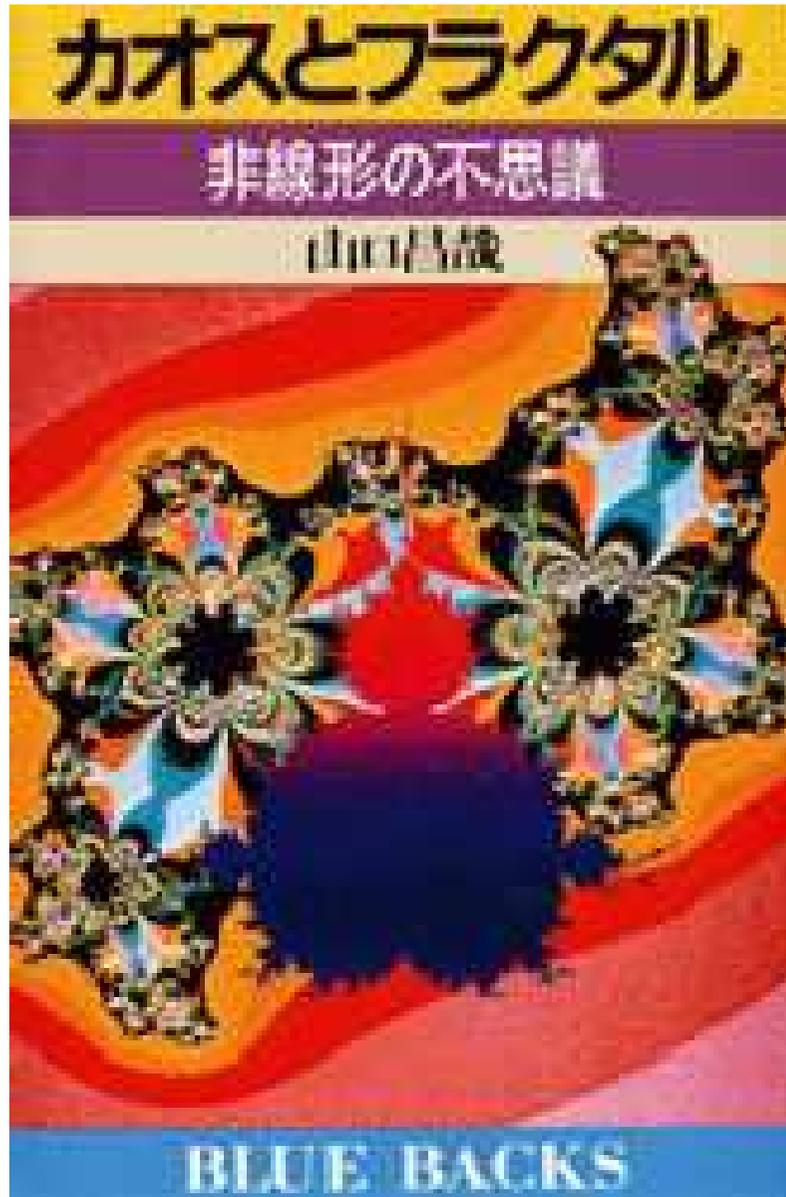
ロジスティック写像より得られる決定論的な系列

$$x_0, x_1, x_2, x_3, \dots, x_{t-1}, x_t, x_{t+1}, \dots$$

コイントスより得られる確率的 (非決定論的) な系列

$$\omega_0, \omega_1, \omega_2, \omega_3, \dots, \omega_{t-1}, \omega_t, \omega_{t+1}, \dots$$

# 証明



山口 昌哉  
「カオスとフラクタル  
– 非線形の不思議 –」  
講談社ブルーバックス,  
1986 .

証明は pp.36–44 に載っている .

# フォン・ノイマンもカオスを知っていた!

403. S. M. Ulam and John von Neumann: *On combination of stochastic and deterministic processes*. Preliminary report.

A computational procedure for the study of various differential equations—ordinary or partial—is investigated. It consists of a statistical model of the corresponding physical problem and involves a process which is a combination of deterministic and stochastic processes (see Bull. Amer. Math. Soc. Abstract 51-9-165). This procedure is analogous to the playing of a series of “solitaire” card games and is performed on a computing machine. It requires, among others, the use of “random” numbers with a given distribution. Various distributions of such numbers can, however, be obtained by deterministic processes. For example, starting with almost every  $x_1$  (in the sense of Lebesgue measure) and *iterating* the function  $f(x) = 4x \cdot (1 - x)$  one obtains a sequence of numbers on  $(0, 1)$  with a computable algebraic distribution. By playing suitable *games* with numbers “drawn” in this fashion, one can obtain various other distributions, either given explicitly or satisfying given differential or integral equations. (Received September 3, 1947.)

# カオスの“定義”

## □ Aperiodic

– 同じ状態は二度と生じない

☞ ただし、コンピュータシミュレーションがデジタル計算であることには注意する必要がある。

## □ Bounded

– 写像を何回繰り返しても、有限な空間に存在している  
( $\pm\infty$  に発散しない)。

## □ Deterministic

– 写像を繰り返えす法則は完全に決まっている。

☞ 神はさいころを振るか。Does God play dice?

## □ Sensitive Dependence on Initial Conditions



# カオスの特徴

ロジスティック写像のような**決定論的非線形ダイナミクス**



---



---



---

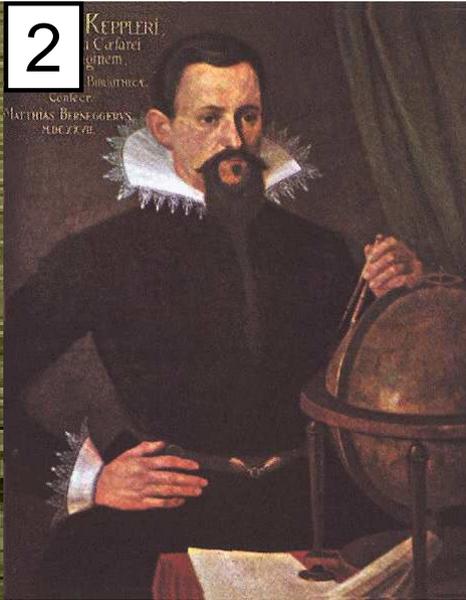


# カオスの源流と発展

1



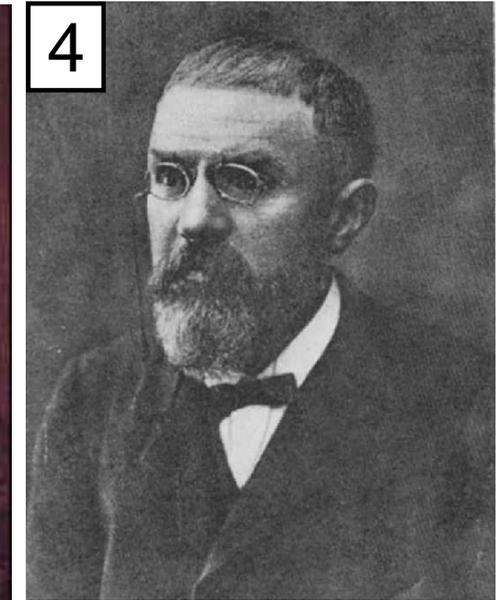
2



3



4



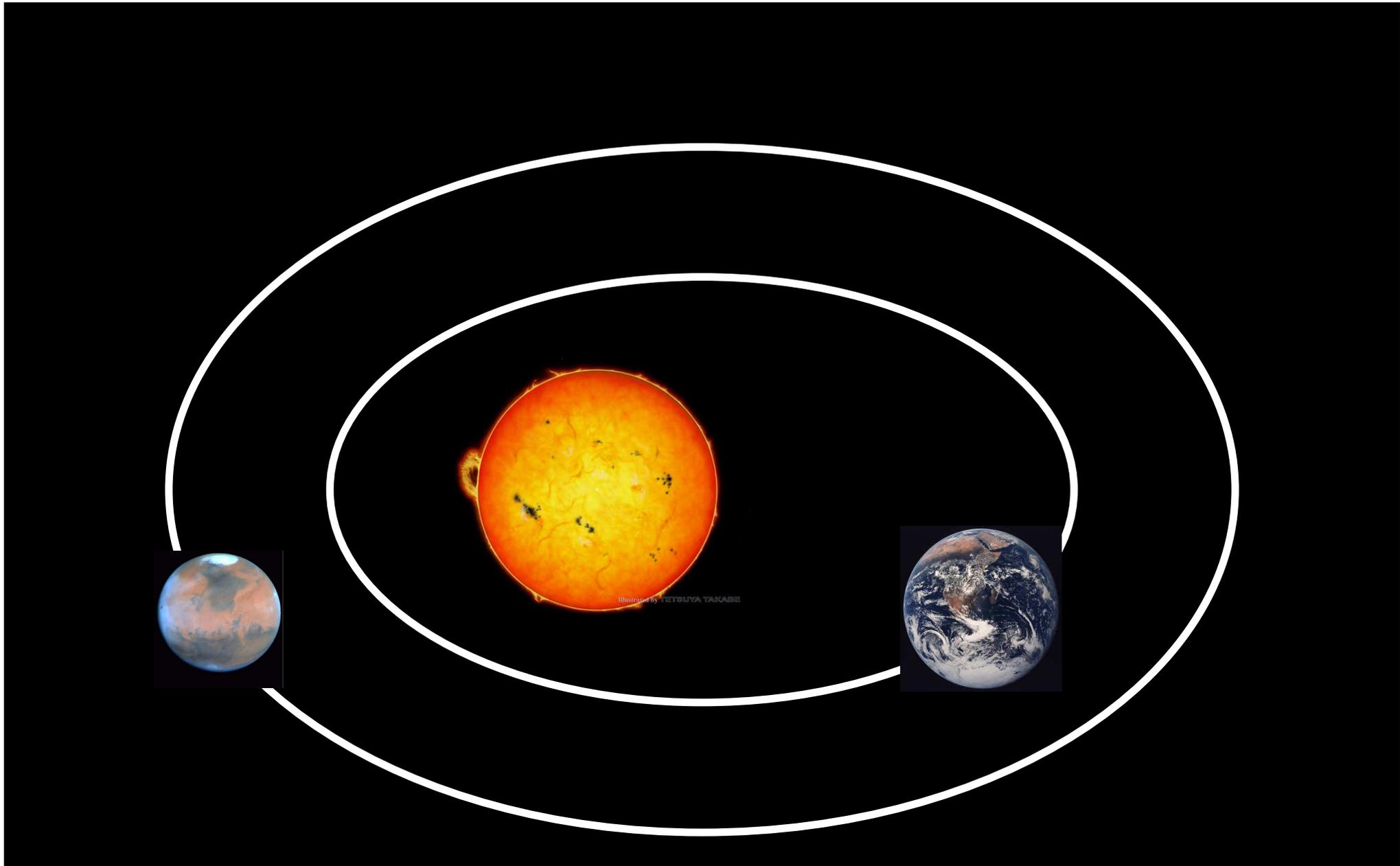
1

2

3

4

# 2体問題から



# 20世紀の三大発見

## □ ニュートン力学的世界観を打ち破る

- 相対性理論 ——
- 量子力学 ——
- カオス ——



### 例: 単振り子から二重振り子へ

- 単振り子 (2 自由度) —— 解析的に求解可能, 周期解
- 二重振り子 (4 自由度) —— 解析的に求解不可能, カオス解

# カオスへ至るルート

実際に、ロジスティック写像

$$x_{t+1} = Rx_t(1 - x_t)$$

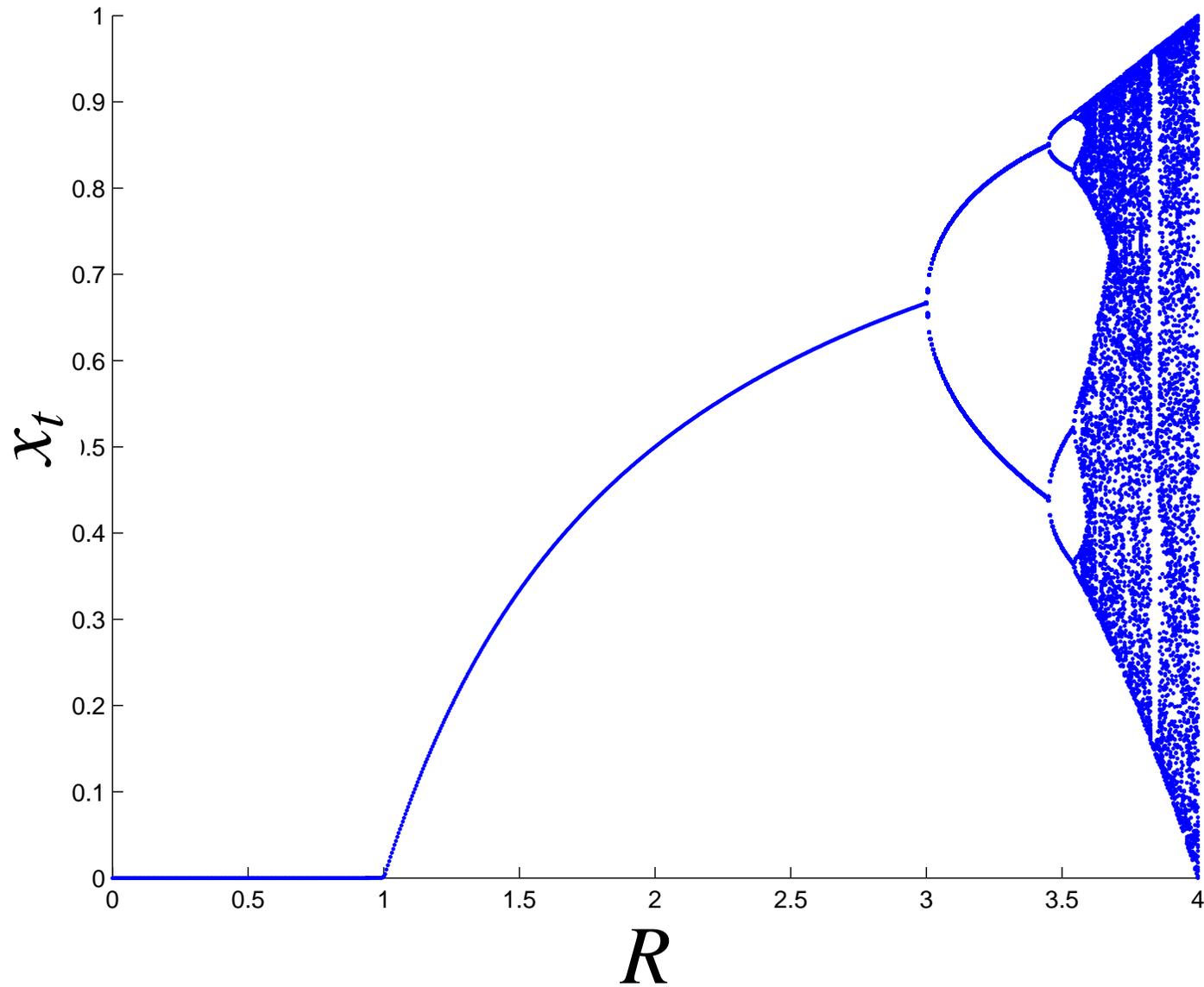
のパラメータ  $R$  を徐々に変化させると、どのようなことが起きるのだろうか？

- 実際に、 $R$  を少しずつ変えた場合に、初期値  $x_0$  に対して、 $x_1, x_2, x_3, \dots$  がどうなるかを見てみよう。

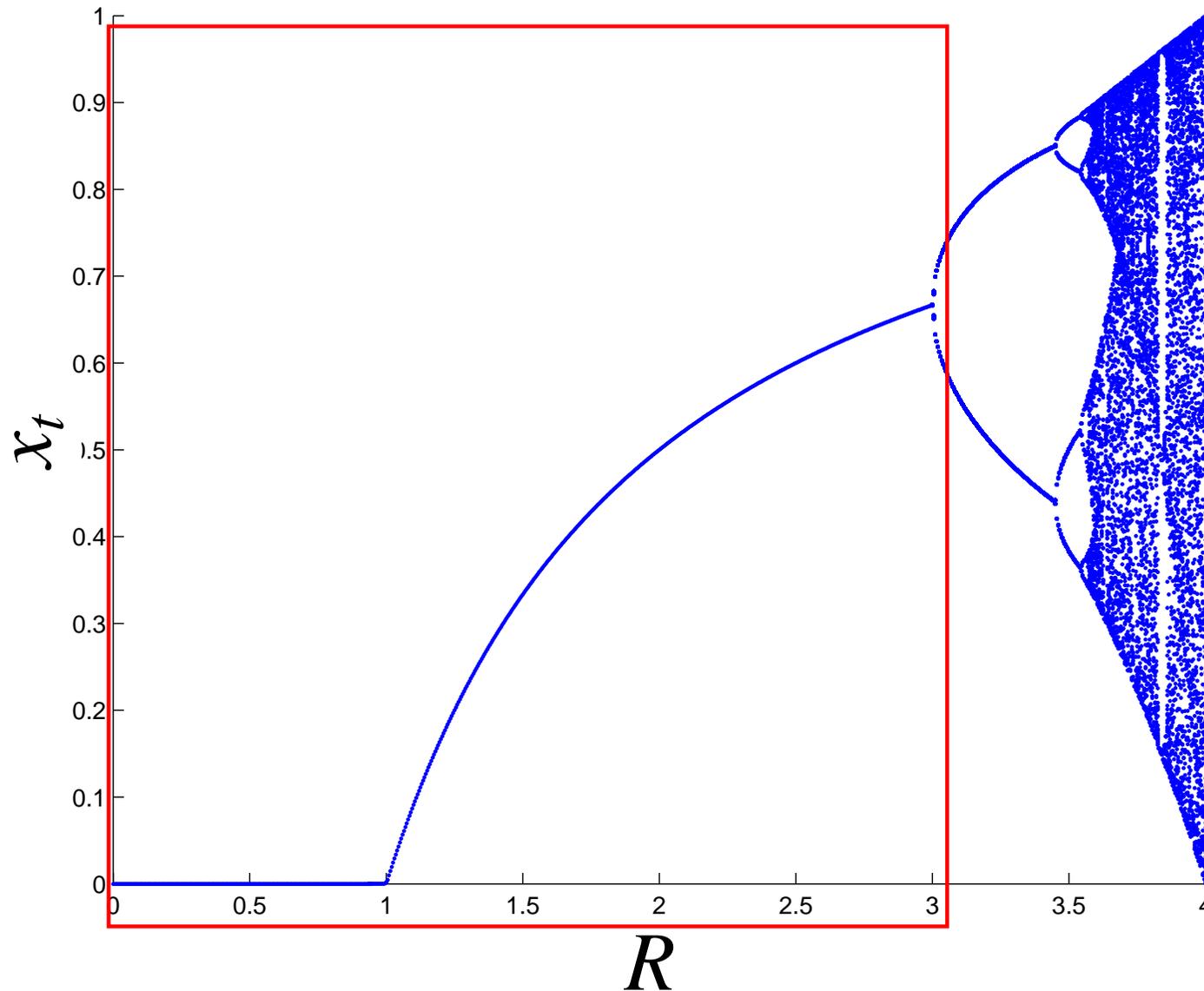


\_\_\_\_\_ = \_\_\_\_\_

# ロジスティック写像の分岐図



# $0 < R < 3$ の部分に注目してみよう



# 演習

